

貧酸素水塊速報 (2007年)

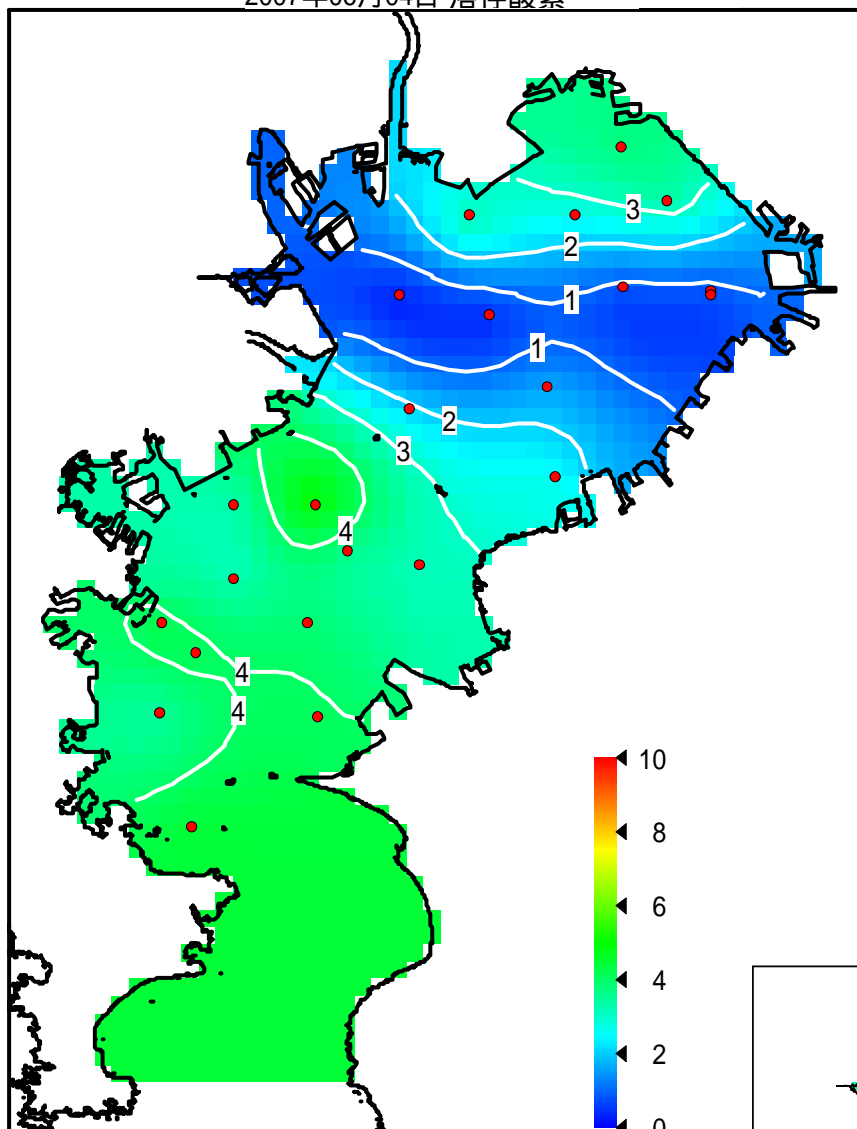
千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

貧酸素水塊は規模が大きくなっており、内湾中央部の底層はほぼ貧酸素水塊に覆われていました。
 また、湾奥(浦安から千葉地先)は濃い赤潮状態でした。(水色は茶褐、透明度は1m以下、クロロフィルa量(センサー値)は50 $\mu\text{g/L}$ 以上)

出現プランクトンのうちの優占種は渦鞭毛藻のプロロセントラム トリエスティナム(*Prorocentrum triestinum*)とラフィド藻のヘテロシグマ アカシオ(*Heterosigma akashiwo*)でした。ただし、ヘテロシグマ種は5月21日の調査時よりは少なかったです。

2007年06月04日 溶存酸素

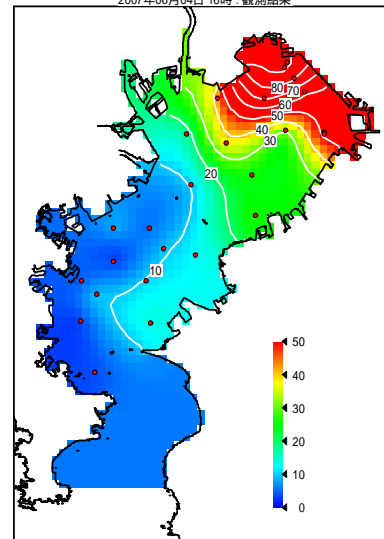


底層の溶存酸素量分布(ml/L:速報値)
 平成19年6月4日観測分

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	

2007年06月04日 16時:観測結果



表層のクロロフィルa分布
 ($\mu\text{g/L}$, センサー値)